

月初に傳送附之為替
三十金元正の落手直
お金銀行上圍にし且
つ利子を要する儀志ら
むお石川より傳奉完
七受取りの矢張り様中
遺らし置山女是亦左
様中へ海志とらるる
小野様君建碑の儀
あり方法書不日傳廻
ハし一可申上り有地外
有志者傳督促を乞
ふ有貴の願すより不

六月十八日 行取

市島之史

元輝佐瀨其他の諸史に
真しく傳傳様とらるる

揮毫亦為別

不識法入者心

為字樣父子

上地廣說

之國海之

之尺之

何年

花

香

中

一

信

此

為

一

方翰

一印二極在

印 沼南

龍 龍行

三印 別川



65 70 75 80 85

